

トリス(2,3-ジブロモプロピル)フォスフェートの

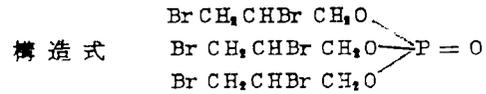
分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和51年5月10日～昭和51年9月14日

2. 試料名 トリス(2,3-ジブロモプロピル)フォスフェート

(試料No K-174)

分子式 $C_9H_{15}Br_6O_4P$



性状

組成 リン 4.4% 臭素 68.7%

比重 2.25

粘度 6000 cpa

凝固点 -8°C

分解点 260°C

溶解性 水に不溶 有機溶剤可溶

(提示資料による)

3. 試験方法及び条件

環保業 第5号
 薬 発 第615号
 49基局 第392号

微生物等による化学物質の分解度試験による

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

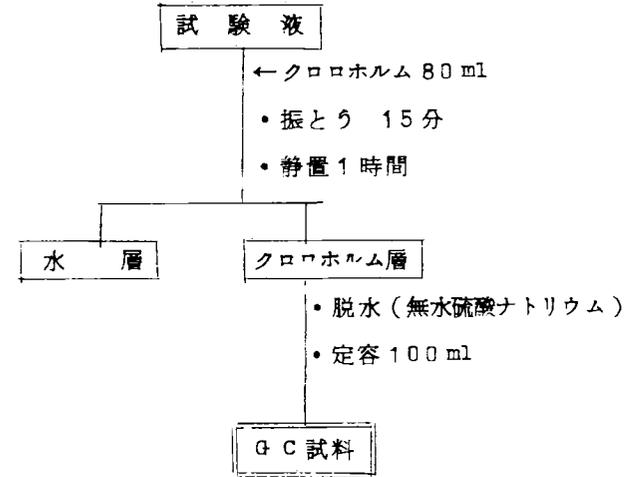
3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス N_2

充てん剤 5% OV-17/クロモソルブWAW

ガラスカラム $2\text{mm}\phi \times 0.3\text{m}$

カラム温度 236°C

以下次頁に続く

4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	1.8	1	—
G C による結果	(-)※	2	1

※ 負の値を得たので(-)とした。

5. 備 考

供試物質は粘度の高い液体のため攪拌子に30mgを付着させて培養ビンへ添加した。

又クーロメーターセット時は液滴となり培養ビンの底へ沈んだが、14日後には攪拌子に付着していた。

以 上